

# 文連ニュース

No. 12  
2021年1月25日

発行／飯塚文化連盟  
〒820-0041 飯塚市飯塚14-67  
TEL0948-22-3274(コミセン4F)

## 寿 新春

飯塚文化連盟 会長 紙野美寿江

「しづけさや 平穩いのる ふく茶かな 丸山妙子の句」  
私の今年のお年賀です。

連日コロナのニュースに明け暮れた昨年から、鬱々とした日が今だに続いており、日本列島コロナ一色になってしまった。

飯塚文化連盟も昨年は広報事業部だけは何とか活動できたが、新型コロナ感染症拡大防止の為、殆どの事業が中止を余儀なくされた。

「緊急事態宣言」発出中は文連事務室への立入も会長以外は遠慮いただく等、皆初めての経験で右往左往。

宣言解除後は3役員会議の連続で、結論は先ずは「命を大事に」ということで進めてきた。今は、「なんとか冬を乗り切れれば」と切々たる思いの中にいる。

さて、令和3年度の総会は、従来の有り様を見直して開催準備中。

また、メイン事業のひとつ「第40回飯塚新人音楽コンクール」は既に昨年12月から募集に入り、5月3・4・5日の予選は主管者としてコロナ対応を第一に考え、永い歴史の中で初めて映像審査(DVD)に踏み切った。これには事務局スタッフのみ当たり、予選はボランティアの要請はしないこととした。

「第7回飯塚総合文化祭」も文化祭事業部を軸とし、コロナの状況を注視しながら5会場協力し、新しい形も模索しながら開催に向けて整えていただきた。文化課からもコロナ関連情報や様々な書類を届けていただいている。それを確認しながら他の事業も進める年になるであろう。1月13日に福岡県にも二度目の「緊急事態宣言」が発出された。何とも先の見えない厳しい状況下にあるが

新しい年は丑年。

牛は、動作はのろいが体は丈夫。

ゆっくり、ドッシリ歩く姿は実に頼もしい。

しっかり大地を踏み締めて、心をひとつにこの苦境を乗り切りましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

## 第40回飯塚新人音楽コンクール

40回コンクールに向けて動き出した。

既に募集も始まり、予選の締め切りは3月11日としている。39回が中止となった為、39回の応募者で、今回年齢制限でオーバーする人は特別として参加が認められる等、予選、本選を通じてコロナ対策の為、一部の見直しを行った。感染防止対策を講じて準備に万全を期したい。

### ♪会場

「イヅカコスモスコモン」……演奏会場、リハーサル会場（本選）

「イヅカコミュニティセンター」……リハーサル会場（本選）

### ♪予選

ピアノ部門 2021年5月3日(祝・月)、4日(祝・火)……中ホール

声楽部門 2021年5月4日(祝・火)、5日(祝・水)……大ホール

本年度予選参加は映像(DVD)審査とする(審査員のみ来飯)

審査講評は例年通り発送する。

### ♪本選

2021年6月6日(日)10:00~15:30(予定)

ピアノ部門 10:00~ 中ホール

声楽部門 12:00~ 大ホール

成績発表・表彰式 16:40~17:30 大ホール

「審査員を囲むティーパーティー」を中止とする為、

直接指導が受けられないので審査講評を発送する。

## 第40回記念特別招待演奏会 準備進行中

本年、飯塚新人音楽コンクールは40回を迎える。これを記念しての事業が計画進行中。活躍著しい本コンクール出身者と二期会所属歌手との楽しいステージを乞うご期待。

### ♪日時

2021年11月21日(日)14:00~

### ♪会場

イヅカコスモスコモン 大ホール

### ♪テーマ

「四大テノールが奏でるところの歌」(仮称)

### ♪出演者

- ・第40回飯塚新人音楽コンクール ピアノ部門 第1位
- ・第40回飯塚新人音楽コンクール 声楽部門 第1位
- ・山本康寛(第32回飯塚新人音楽コンクール 声楽部門第1位)
- ・小堀勇介(第36回飯塚新人音楽コンクール 声楽部門第1位)
- ・与儀 巧(東京二期会)
- ・城 宏憲(東京二期会)

【伴奏】久保山菜摘(第32回飯塚新人音楽コンクール ピアノ部門第1位)

## おめでとうございます！深谷磯香氏（香風会代表）

### 令和2年度「福岡県地域文化功労者表彰」受賞



深谷磯香氏は茶道教授として60年以上にわたり活動し、茶道裏千家淡交会筑豊支部や茶道心和会の役員を長く務め、筑豊地域における茶道の第一人者として活躍。特に茶道文化の継承に注力しており、昭和43年から34年間、市内の県立高校の正課授業及び部活動において茶道の指導を行ったほか、地域の交流センターで茶道教室を開催。昭和53年からは飯塚祇園山笠の追い山にあわせて「祇園ふれあい茶会」を開催するなど、今なおふるさと文化の発信者として地域における茶道文化の普及・育成に力を注いでいる。

12月23日深谷磯香氏宅にお邪魔して受賞のインタビューをしてみました。

#### ◆受賞おめでとうございます。今のお気持ちを聞かせてください。

日本の伝統文化、美意識が好きで一生懸命やってきました。若い方がちょっとでも日本の文化に触れてくれたらいいな、日本の美意識を高めてくれたらいいなと思っています。若い指導者にお茶の伝統を教えることで自分が育てられてきたと思っています。

#### ◆お茶を始めたのはおいくつですか？

子供の手が離れた27歳からお茶を始めました。父親が所有しているお道具があり幼少時期からお茶は身近な存在でした。お茶会に合わせて選びますが、お道具は深いです。いくつになってもその日本の美意識の深さに気づくことがあります。

#### ◆コロナ禍の今年はどうされましたか？

稽古は対策をして再開しました。季節ごとにお茶会をしてきましたが今年はできなかったのが寂しかったです。コロナが終わったら、その時々のお道具を出して皆さんと一服楽しみたいです。

(インタビュー 宮下委員)

## 深谷千和子氏（宗和会代表）

### 令和2年度「飯塚市市勢振興功労者表彰」受賞

現在は茶道教授、和楽会の相談役。茶道心和会の会長として活動しており、日本の伝統文化である茶道の精神を後世に伝える為、40年以上にわたり普及育成に積極的に取り組んできた。また、地域においても豪雨災害等、未曾有の事態にも茶道活動を通して募金の呼びかけ等被災者支援にも取り組んできた。現在も筑豊地区の茶道文化の継承発展に貢献し、後進の育成に尽力している。



## 《飯塚美術協会 創立105周年を迎えて》

文連サークルの飯塚美術協会が創立 105 周年を迎え、会長の原田敏規氏にその想いを寄稿していただいた。

飯塚美術協会が発足したのが大正 4 年。今年は 105 周年に当たる年になる。発足当時は「パレット会」と称し、有光収氏、石川俊氏、花村尚輔氏らが、発起人として顔を揃えていた。設立の意義目的は「今まで個人個人ばらばらで絵を描いていた人たちがもっと研鑽し、質を高め、飯塚の芸術文化の光をますます明るくする事に貢献しよう」との熱意のスタート。その後この会に賛同する人たちが増え、飯塚美術協会へと発展していった。筑豊地区の炭鉱景気盛んな頃は日本国中から文化人が来訪し、本協会もその頃、斧山万次郎氏、筑山節生氏、山口素道氏、倉智憲夫氏、立花重雄氏らの有名な作家を輩出し、地域の絵画芸術をリードする団体として活動も活発であった。そして数年前文化勲章を受章された野見山暁治先生はその頃まだ高校生で本協会の会員ではなかったが、本協会の手伝いをされていたと伺っている。

105 周年を迎えるにあたり、今後も飯塚文化連盟と共に、更なる地域文化の向上を目指すチームとして活動していきたいとの思いを強くしている。(飯塚美術協会 会長 原田敏規)



## 2020年コロナ禍での「ダンスナッツ」活動報告

昨年はコロナ禍により文化祭はもちろんほとんどの文化事業が中止される中、ダンス教室の生徒、特に子供達に「どんな世の中になっても簡単にあきらめないこと、そして楽しむことはできること」を教えるためにも、11月22日筑豊緑地内野外ステージにてシークレットライブ（発表会）を行った。

フライヤーにも上げず、本当にシークレットで観客もご家族のみでと伝えていたが、当日はご家族、親戚の方はもちろん、生徒達の友達、その家族までも来場。結局は例年と変わらない観客数での開催となった。

そして、昨秋より幼稚園でのダンス指導の依頼を受け、コロナ禍における幼児達の身体能力・柔軟性・表現力などを目の当たりにした。特に三歳児などは、物心ついたころからマスク生活を強いられ虚ろな表情の子も見られ、不安で胸が痛んだ。

今年はその子供達の表情が少しでも明るくなってくれればと願い祈る一年になるだろう。

(代表 迎 千栄美)



“鬼滅の刃”より「紅蓮華」でポーズを決める子供達



## 令和3年度の予定

### 《第7回飯塚総合文化祭》

- 飯塚会場  
(コスモスコモン・コミュニティセンター)  
10月16日(土)～11月7日(日)
- 穎田会場  
(穎田交流センター)  
日程未定
- 庄内会場  
(庄内交流センター)  
11月6日(土)～11月7日(日)
- 筑穂会場  
(筑穂交流センター)  
10月16日(土)～10月17日(日)
- 穂波会場  
(穂波交流センター・穂波体育館)  
11月13日(土)～11月14日(日)

### 《飯塚総合文化祭関連事業》

- 令和3年度飯塚市美術展(市展)  
【申し込み】  
10月15日(金)～10月16日(土)  
【展示】  
書道部門  
10月20日(水)～10月24日(日)  
絵画・デザイン・写真・彫塑工芸部門  
10月27日(水)～10月31日(日)  
【表彰式】 11月3日(水・祝)
- 令和3年度少年少女俳句展  
10月27日(水)～11月3日(水・祝)  
【表彰式】 11月3日(水・祝)

### 文連新入会の申込締め切りは3月12日(金)です

文連に新しく入会希望されるサークルは、3月12日(金)までに手続きを終えて下さい。入会には、当該部門の代表者と当該分野の運営委員からの計2名の推薦が必要です。

詳しくは、事務局まで  
《コミュニティセンター 4F / ☎ 22-3274》